

あいち農産物生産流通レポート

令和2年4月号

	ページ
◎ 地域トピックス	
・ 管内各総合農協において盛大に品評会が開催されました (東三河農林水産事務所)	1
◎ 東日本情報	
・ 静岡・愛知洋菜合同品質検討会および食味試験について (東京事務所)	2
◎ 西日本情報	
・ 県産農林水産物を扱う飲食店・小売店における多言語表記の取組について (食育消費流通課)	4
◎ フラワーページ	
・ 花き流通情報連絡協議会の活動 (東京事務所)	5
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	7
・ 名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し	8
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の4月の見通し(県内市場)	20

※今月、「情報サロン」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課 (052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ (03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。それぞれの情報につきましては、

【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

【消費者物価指数】

全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」
<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>
名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

【農業物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農業物価統計調査」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」
http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_

を御覧ください。

管内各総合農協において盛大に品評会が開催されました

東三河農林水産事務所

東三河地域は、全国屈指の農業集積地帯です。特に1月から3月の時期は、キャベツや洋菜など出荷が盛んになる品目が多く、東三河管内の各総合農協が毎年品評会を開催しています。これらの秋冬作における農協での品評会の様子を紹介します。

1 第39回蒲郡市農林水産まつり品評会

蒲郡市農協では、ボートレース蒲郡を会場に、1月24日（金）に審査会が開催され、翌25日（土）、26日（日）の「蒲郡市農林水産まつり」において、一般公開の表彰式が行われました。この時期は、当地域特産の柑橘類やつまもの小菊などが中心となり、農林水産まつりでは、品評会で受賞した農産物を始めとした販売会も行われました。

2 第23回豊橋農業協同組合冬季農産物品評会

豊橋農協では、地元企業体集合施設であるサイエンスコアにおいて、2月5日（水）に審査会が行われ、キャベツやトマト、デルフィニウムなどの青果物や花きが出品されました。翌6日（木）には、褒賞式が開催され、その後、施設で勤務している人などに対して、出品農産物の頒布会が行われました。

3 第21回田原市・JA愛知みなみ園芸農産物総合品評会

愛知みなみ農協では、田原市総合体育館において、2月21日（金）に審査会、翌22日（土）に表彰式が行われた後に、「JA愛知みなみTAHARAぐるっとフェスタ」と題して出品物の展示を行い、家族連れなど多くの市民が訪れました。フェスタでは農産物の販売会も開催され、販売が盛況に行われました。



田原市会場の様子

4 ひまわり農業協同組合農産物品評会

ひまわり農協では、農産物品評会に併せて、一般向けの農産物祭りを開催しています。本年は、豊川市総合体育館において、3月6日（金）に審査会、翌7日（土）に表彰式及び市民祭りをを行い、盛大に一般開放する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う一連の行事自粛の影響での開催を見送ることとなりました。

東三河農林水産事務所では、これらの催しに対して、農業改良普及課と農政課で審査員（農業改良普及課長が審査委員長）を務めたほか、農林水産事務所長などが知事賞を始めとするプレゼンターを行いました。これらの行事は生産者の意欲向上は勿論のこと、市民祭りなどと同時開催することで、農協と市がタッグを組んで秀逸な農産物を地元の消費者にわかりやすくPRする取組として効果的だと感じました。

静岡・愛知洋菜合同品質検討会および食味試験について

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

2月4日（火）、大田市場内会議室において、静岡県京浜地区野菜流通協議会、京浜市場愛知県野菜連絡会洋菜研究会合同による洋菜品質検討会が開催され、会員である両県主要取引市場、各JA（産地）、両経済連、愛知県東京事務所の関係者が参加しました。

市場内より引き上げた両県各産地と競合産地のサンプルの品質調査結果を基に、各産地からの生育状況、出荷進度などを交え、今後の販売に向け各産地と意見交換を行いました。また今年度は、新たな取組として「愛知県、静岡県産の差別化を意識する」ことを念頭に、同一調理法（大きさ、加熱方法）での試食・食味比較を実施しましたので、品質検討会の概要と併せてご紹介します。



品質調査風景

1 静岡・愛知洋菜合同品質検討会

毎年、冬のシーズンに実施する本県野菜研究会と静岡県協議会との合同品質検討会は、平成16年度より行われ、今年で16回目の開催となります。両県に共通して京浜市場への入荷実績があるブロッコリー、カリフラワー、レタス、リーフレタス、グリーンリーフ、セルリーの6品目について、重量、揃い、色沢、病虫害等の項目を、両県の野菜研究会と協議会会員である主要取引先市場の流通担当者の目で調査・評価します（表1）。

品質調査を実施した後は、産地も交え結果の検討を行い、検討会に参加した産地へ入荷物（サンプル）に対する意見や課題を投げかけます。また、産地側は生育状況や今後の出荷計画、市場への意見などを提示することで、今後の有利販売や取組に繋がるよう意見交換がなされます。

表1 品質検討会調査表（例：ブロッコリー）

ブロッコリー 品質調査表

とき：令和2年2月4日（火）
ところ：東京大田市場 9階第4会議室

※基準とする産地の番号に○印をつけてください。

NO	産地名	等級	1ケース重量(kg)	色沢【点数】	形状【見た目】【点数】	株の大きさ【花蕾の揃い】【点数】	病虫害【点数】	コメント(必ず記入)
1	a	秀12玉	5.8 kg/ケース	2	2	4	4	個 色薄い、秀品では無い
2	b	秀12玉	4.7 kg/ケース	4	3	3	3	個 茎干、株の大きがある
3	c	秀12玉	5.2 kg/ケース	3	3	3	4	個 終わりの厚地だが病斑は良い
4	d	秀20玉	12.9 kg/ケース	3	3	3	3	1 個 軸が短い、病斑あり、大小の差が大きい
5	e	秀12玉	5.5 kg/ケース	4	4	4	4	個 全体的に揃っている、大きき良い
6	f	秀20玉	13.8 kg/ケース	4	5	5	5	個 大玉で揃いも良い
7	g	秀20玉	13.0 kg/ケース	2	2	3	3	個 色薄い、形状良くない、死花あり
8	h	-	kg/ケース	-	-	-	-	個 -

※評価基準：1～5の5段階で評価。 秀品として適切の場合→4 秀品の中でも、より優れている場合→5
秀品としては、やや落ちる場合(秀品として80%程度認められる場合)→3
秀品としては、やや落ちる場合(秀品として60%程度認められる場合)→2
秀品としては、不適切な場合(秀品として40%程度認められる場合)→1

2 ブロccoli食味調査

ブロッコリーの食味調査は、16年目となる本検討会の活性化と両県産地のセールスポイントを見直す（愛知、静岡産の差別化を意識する）切っ掛けとして発案されました。初回となる本年は、新興産地の参入により市場到着時の状態が多様化^{*1}していると考えられるブロッコリーに着目し、同一調理法^{*2}による食味試験を実施しました。



食味試験サンプル

サンプルは愛知2産地、静岡1産地のほか、九州2産地、四国1産地、関東近在1産地、海外1産地の荷で、当日の朝に市場に到着したものを用い、品質調査と同様に産地名を伏した形で行われました。調査項目には、「見た目」「匂い」「歯応え」「総合(味)」の4項目を設け、評価・点数化しました。

※1：氷詰め、発泡スチロール、出荷調整の導入により、入荷時点での「収穫からの経過日数」や「流通時の品温」「品種」などが異なる。

※2：①同じ大きさに切り分ける。

②底面に水を張った深皿に「①」を入れ、ラップをかけ電子レンジ（600W）で3分30秒加熱。

③加熱後にボールに移し、室温で食味まで2時間ほど冷ます。

3 食味結果

発泡スチロールと氷詰めを行う産地Aが最も高い総合評価となり、次いでダンボールと鮮度保持フィルムを使うG、E、Dが続きました。（表2）

産地Aが高評価でしたが、同じ出荷形態のH、Cは各々5位、8位で、出荷形態による食味の有意性は確認できませんでした。

また今回のレンジ調理では、輸入品の産地Hは、加熱直後の「好ましくない香り」が強く、冷めると気にならない程度に薄まりました。この「匂い」はAの加熱不足（3分30秒未満の中途半端な加熱）の状態でも感じられました。

表2 食味試験結果および各荷の状態

総合順位	産地名	得点 (ノ/A)	ダンボール + フィルム	発泡スチロール + 氷詰め	出荷調整 (長期冷蔵)	備考
1	A	1.00		○	○	
2	G	0.86	○			愛知
3	E	0.83	○			
4	D	0.79	○			
5	H	0.78		○	●	輸入(アメリカ)
6	F	0.73	○			愛知
7	B	0.65	○			
8	C	0.64		○		

※●は長期輸送

4 差別化を意識するにあたり

今回のレンジ加熱調理から冷ました状態での食味試験では、「匂い」の差が小さくなる結果となりましたが、「匂い」は子供のブロッコリー嫌いの理由にもなっています。輸入品など長い輸送期間等で鮮度が落ちたものを暖かい状態で食べさせる際には、産地や流通、小売からも注意や配慮が必要と感じられます。

一般にブロッコリーの加熱には茹でる調理法がとられますが、今回は時間や会場の都合上、電子レンジを利用しました。市場に到着した時点での品質・状態、品種、産地等により各々に適した調理法、出し方、料理があると考えられ、消費者や小売へのPRにはそれらを伝えることも大きなセールスポイントになると考えられます。

今後、研究会では、食味試験を始めとした両県洋菜産地の「差別化を意識する」取組を連携・支援していく予定です。

県産農林水産物を扱う飲食店・小売店における多言語表記の取組について

食育消費流通課

近年、日本を訪れる外国人旅行者が増加しており、訪日の目的として、ショッピングや日本食を食べることに高い関心が寄せられています。本県では、県産農林水産物のインバウンド需要の拡大に向けて、県産農林水産物を扱う飲食店・小売店等を対象に、メニューの多言語化等のインバウンド対応への支援を試験的に実施しました。

1 実施方法

2019年11月から2020年1月の期間、メニューと店舗情報を4言語（英語、簡体字、繁体字、タイ語）に翻訳し、県が本年度新たに制作したインバウンド向けWEBサイトに掲載しました（表1）。

店舗には、翻訳したメニューのWEBページのQRコードを掲示し、来店した外国人に翻訳メニューを活用してもらいました。

表1 支援実施店舗の情報

対象店舗	分野	メニュー
THREE PLACE (スリープレイス)	飲食店	・渥美産茶卵を使用した卵かけご飯 ・三河牛と三河豚のハンバーグ 等
Milks(ミルクス)	飲食店	・西尾産チーズを使用した料理 等
ピピット！あいち	小売店	・愛知県産農林水産物 ・愛知県産加工食品 等

■インバウンド向け愛知県WEBサイトトップページ

□THREE PLACE メニュー

<https://www.aichi-food.info/>
<https://www.aichi-food.info/threeplace/>

□Milks メニュー

<https://www.aichi-food.info/milks/>

□ピピット！あいちメニュー

<https://www.aichi-food.info/japan/pipitto/>



店舗における多言語表記QRコードの掲示の様子

2 実施結果

どの店舗でも、近年外国人の訪問が増えていると感じていましたが、外国語での接客に不安があり、顧客として積極的に外国人を取り込めていない状態にありました。

今回の取組で、店舗からは、「店の前で入店を迷っている外国人にボディランゲージで接客をしながらQRコードを提示することで店に迎え入れることができた」、「店舗を訪問した外国人にQRコードを提示することでスムーズな注文につながった」、「外国人観光客に多言語のメニューがあると認知してもらえ、リピート訪問につながった」等の声が聞かれました。また、外国人客からは「日本語以外のメニューがあるのはとても助かった」という声がありました。

今回の取組結果を基に、さらに多くのインバウンドに県産農林水産物を楽しんでもらえるよう、今後もインバウンド対策支援を行っていきます。

花き流通情報連絡協議会の活動

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

花き流通情報連絡協議会（以下、花き協）は、東京において花きを取り扱う道県、農業団体の事務所及び生花卸売会社によって組織された団体です。現在 18 道県の 24 組織及び 6 卸売会社で構成され、花き生産や流通の情報収集等、様々な活動を行っています。

1 情報交換会の実施

花き協では、各道県が作成した主要品目の作柄や出荷見込み等の産地情報を共有しているほか、各市場が翌月動向などを情報提供しており、全国の産地情勢や今後の市場展望を把握するための情報収集の場となっています。また、盆や彼岸、年末年始といった物日の際は、その前月に情報交換会を実施し、動向を確認しあっています。



ジャパンハーヴェスト 2019 での花材展示

2 消費宣伝活動

花き協では、首都圏における消費宣伝活動にも取り組んでいます。本年度は、11月2日（土）～3日（日）にかけて東京駅近くの丸の内仲通りで開催された「ジャパンハーヴェスト 2019」に出展し、各県の花の展示とPRなどを行いました。

今回の会場では、花贈り・花文化の普及や花キューピット事業に取り組む一般社団法人 JFTD がワークショップを開催したこともあり、多くの来場者に花きをPRできました。



視察研修会の風景

3 視察研修会

構成員の見識を広めるための視察研修会では、本年度2月3日（月）～4日（火）にかけて、熊本県内のカスミソウ・輪ぎく・トルコギキョウ等の産地を視察しました。

また、JAグループくまもと花き部会が行う品目別の専門部会の活動について説明を受け、同県の栽培技術や販売対策などを学びました。

花き協では、このように各産地の情勢や流通動向を学ぶとともに、花きの消費宣伝活動に取り組むなど、様々な切り口から花きに関する取組を行っています。

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下
 わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：チンゲンサイ）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
元年実績	1, 104	514 (47%)	284	250	静岡 (48%) 茨城 (4%) 長野 (1%)
2年見通し	1, 100	—	260	—	
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等			
<p>愛知、静岡ともに生育状況は順調。暖かい気候もあり、生育は前進気味で3月下旬の入荷はやや落ち着いている。元々の安値傾向に加え、学校の休校で給食需要がなくなり消費が落ちているが、他の葉物野菜が品薄なこともあり、引き合いはある。今後は天気と新型コロナウイルスの状況次第だが、学校給食の再開など例年の情勢であれば、4月下旬頃には価格も上向くか。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>		<p>現在は順調な入荷状況となっているが、日によって入荷量の増減が大きいことがある。天候等の問題もあると思われるが、日量較差の少ない出荷をお願いしたい。また、学校給食がある時期は、週明けに給食向けの注文が増える傾向にあるため、ご留意願いたい。 本年は、暖冬の影響か株が大きく育って箱内に収まりきらず、荷詰めした際に葉先が箱に押されることで、葉の傷みが目立つ傾向にあるので、ご留意願いたい。</p>			

○ 東京都中央卸売市場（品目：さやえんどう）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
元年実績	1, 301	291 (22%)	1, 086	1, 203	鹿児島 (21%) 長崎 (15%) 福島 (9%)
2年見通し	1, 300	—	1, 200	—	
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等			
<p>愛知産のほか、鹿児島、長崎などからの入荷となる。暖冬の影響で生育が前進し、年内、年明けと潤沢な入荷となった。そのあおりを受けここへ来て品薄気味となり、高値傾向となっている。作付面積等の増減の情報はないことから、今後の入荷見通しは大きな山もなく、単価は堅調に推移すると予想される。 入荷量は前年並となり、単価は前年をかなり上回る見込み。</p>		<p>きぬさやえんどうでは、競合産地と比較して高品質の愛知県産紅姫は顧客からの強い信頼を得ている。今後も出荷量、作付け、品質の維持をお願いしたい。 スナップエンドウでは、きぬさやえんどう同様、高い品質が信頼を得ている。顧客からの要望としては、作付面積の維持と安定した供給をお願いしたい。</p>			

名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し

名古屋市中央卸売市場

3月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	27年	32,791	259	242	269	257	愛知 26%
	28年	33,834	242	250	246	233	北海道 14%
	29年	32,775	239	253	241	220	鹿児島 10%
	30年	32,444	209	213	210	204	茨城 9%
	31年	35,781	217	226	225	201	徳島 7%
	5ヵ年平均	33,525	233	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	34,200	214	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、北海道などから入荷する。温暖な気候が続く、前進傾向の品目が多い。品目によっては、品質低下や切り上がり時期の前進も予想される。安値傾向は新型コロナより潤沢な入荷によるところが大きいか。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
だいこん	27年	1,980	124	116	131	131	千葉 47%
	28年	2,058	108	125	113	94	愛知 36%
	29年	1,733	104	120	102	96	鹿児島 11%
	30年	1,882	86	84	89	93	静岡 3%
	31年	2,186	92	96	111	75	香川 2%
	5ヵ年平均	1,968	103	108	110	97	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	2,000	95	90	100	95	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、愛知を中心に入荷する。各産地とも生育順調で、概ね平年並の入荷見込み。愛知はやや前進しており、中旬頃から増量する予想で潤沢な入荷となるか。栽培面積は高齢化等により微減している。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
にんじん	27年	2,238	146	127	161	144	徳島 96%
	28年	1,839	174	152	173	192	長崎 2%
	29年	1,896	173	185	187	149	千葉 1%
	30年	1,532	234	231	231	239	熊本 1%
	31年	2,321	122	109	127	128	
	5ヵ年平均	1,965	165	155	171	165	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	2,200	140	140	140	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>ほぼ全量が徳島からの入荷となる。徳島は天候にも恵まれて生育良好。大玉傾向と出荷の前倒しで大幅な入荷増となった前年に近い形の出回りが予想される。入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年をかなり上回るが、平年よりは安値となるか。</p>					

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

3月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	27年	127,933	284	266	288	295	茨城 15%
	28年	131,769	267	272	267	264	千葉 15%
	29年	129,544	260	275	260	245	愛知 8%
	30年	125,191	226	223	229	227	北海道 7%
	31年	128,921	242	245	253	226	神奈川 6%
	5ヵ年平均	128,672	256	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	129,000	245	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、千葉など関東産のほか、北海道、愛知からの入荷が中心となる。暖冬の影響で多くの品目で前倒しが進むも、後続産地も前進するため極端な端境は見られない。十分な数量が出回り相場は軟化する。入荷量、価格はともに前年並となる見込み。</p>					
だいこん	27年	11,066	121	110	127	125	千葉 77%
	28年	10,805	104	113	110	91	茨城 11%
	29年	11,375	94	108	90	84	神奈川 8%
	30年	10,494	83	73	86	91	福岡 1%
	31年	9,982	96	93	112	81	鹿児島 1%
	5ヵ年平均	10,744	100	100	105	95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	10,000	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉を中心に茨城、神奈川からの入荷となる。適度な高温と降雨により前進化した神奈川は残量が少ないと見積られるも、肥大良好な千葉や後続産地の入荷が順調に進むと見込まれる。入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
にんじん	27年	7,726	141	117	150	149	徳島 85%
	28年	7,313	163	134	159	189	静岡 3%
	29年	8,350	168	175	183	148	千葉 3%
	30年	6,640	214	210	213	220	北海道 1%
	31年	7,844	121	108	127	128	中国 1%
	5ヵ年平均	7,575	160	148	165	165	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	7,800	130	140	140	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>徳島を中心に静岡、千葉などからの入荷となる。主力となる徳島では、10月の播種が少なく11月の播種が多かったことから、3月に減り込んだ入荷量は増加・回復するとみられる。入荷量は前年並となり、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

3月16日現在

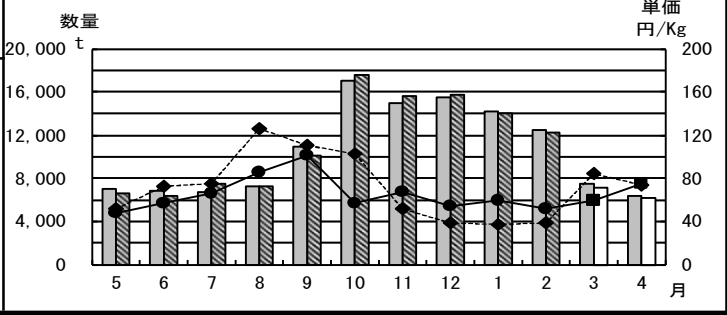
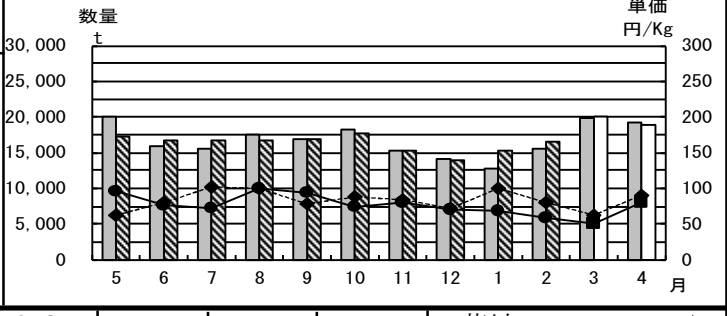
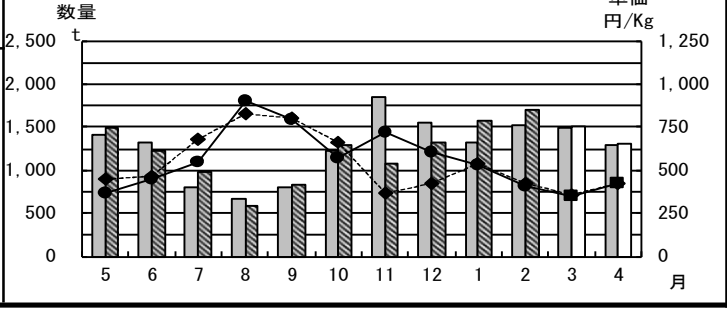
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)			
			上旬	中旬	下旬				
ほうき	27年	1,814	130	90	152	153	茨城	66%	
	28年	1,716	101	120	99	92	愛知	11%	
	29年	1,676	151	199	156	101	兵庫	8%	
	30年	2,045	61	57	68	59	三重	7%	
	31年	2,233	76	79	88	61	長崎	4%	
	5ヵ年平均	1,897	101	105	110	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	2年見通し	2,000	70	70	70	70			
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 5,000 t				単価 円/Kg	
	<p>茨城を中心に愛知などから入荷する。茨城は生育順調で、増量した前年、前々年並の入荷量を見込む。愛知も順調だが、やや前倒し気味の生育状況で、暖冬による品質劣化が懸念される。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年をかなり下回る見込み。</p>								
キャベツ	27年	4,112	132	103	135	149	愛知	92%	
	28年	3,966	109	95	113	123	神奈川	4%	
	29年	4,001	109	132	107	101	兵庫	2%	
	30年	3,441	91	87	103	89	滋賀	1%	
	31年	3,797	85	93	94	73	三重	1%	
	5ヵ年平均	3,863	106	103	111	108	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	2年見通し	3,700	90	90	90	90			
べ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 8,000 t				単価 円/Kg	
	<p>愛知を中心に入荷する。春キャベツが最盛期を迎え、中旬以降増量する見込み。寒玉系は3月の気温高と降雨により小玉での割れが多発しており、本年は切り上がりの時期が早いとみられる。</p> <p>入荷量はわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>								
ほうれんそう	27年	242	594	537	600	673	愛知	40%	
	28年	297	504	523	460	549	岐阜	31%	
	29年	293	471	450	451	552	茨城	22%	
	30年	264	509	457	542	537	静岡	4%	
	31年	345	449	500	510	364	熊本	1%	
	5ヵ年平均	288	500	493	509	524	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	2年見通し	350	500	500	500	500			
そ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 600 t				単価 円/Kg	
	<p>愛知、岐阜、茨城を中心に入荷する。愛知は生育が前倒しした影響で、3月下旬から4月上旬は少ないが、中旬以降は潤沢な入荷を見込む。岐阜も降雪がなかった影響で、出荷時期が早まる見通し。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>								

東京都中央卸売市場

3月31日現在

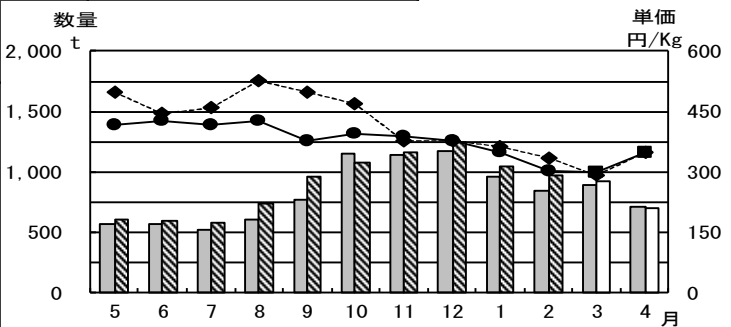
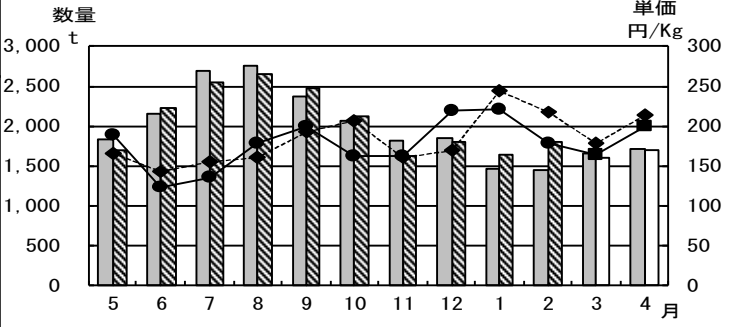
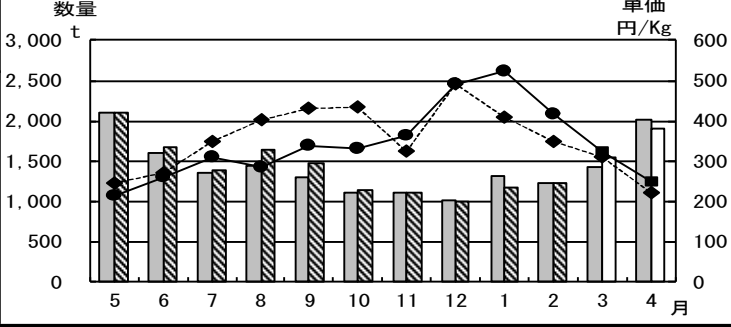
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	27年	5,613	128	96	147	145	茨城 97%
	28年	6,028	98	125	95	80	兵庫 1%
	29年	6,152	141	192	148	92	長崎 1%
	30年	6,630	46	40	49	50	
	31年	6,399	74	77	84	58	
	5ヵ年平均	6,164	96	105	103	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	6,200	75	95	70	60	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	茨城からの入荷がほとんどを占める。暖冬と適度な降雨により前進化している。生育は良好で、入荷は平年並となるか。ただ茨城からの入荷に偏るため、今後の天候次第では端境の懸念が残る。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。						
キャベツ	27年	18,609	129	113	134	139	愛知 42%
	28年	17,540	115	104	113	126	神奈川 37%
	29年	19,569	118	139	115	103	千葉 18%
	30年	18,977	90	95	99	76	茨城 1%
	31年	19,148	90	90	103	73	
	5ヵ年平均	18,769	108	108	113	103	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	18,800	80	85	80	75	
べ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知、神奈川からの入荷が中心となる。各産地とも暖冬の影響で生育は前進化しており入荷潤沢。愛知は前倒しにより前年より数量を減らし、神奈川は春キャベツの前進化により数量を増やすと見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。						
ほうれんそう	27年	1,157	609	561	673	604	茨城 41%
	28年	1,269	512	524	482	529	群馬 37%
	29年	1,148	490	488	470	512	埼玉 10%
	30年	1,091	488	420	591	475	千葉 5%
	31年	1,299	425	495	491	311	栃木 2%
	5ヵ年平均	1,193	503	499	539	483	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,300	420	530	370	360	
そ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	茨城、群馬など関東産地からの入荷が中心となる。基本的に豊作傾向で潤沢な入荷が続くが、3月の冷え込みで高値となった反動と多収性品種への切り替えも重なり、相場は軟化すると見込まれる。 入荷量、価格はともに前年並となる見込み。						

名古屋市中央卸売市場

3月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	27年	707	393	317	449	449	大分 36%
	28年	666	441	404	466	480	愛知 13%
	29年	660	411	404	427	415	鳥取 10%
	30年	650	341	309	337	391	静岡 8%
	31年	715	350	316	362	378	中国 6%
	5ヵ年平均	680	387	349	408	422	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	700	350	300	350	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>大分、愛知、鳥取などが中心となる。白ねぎは主要産地の大分が順調で、増量した前年並の潤沢な入荷を見込む。愛知の普通ねぎは、作況も悪くなく順調な入荷見込みだが、作付けは減少傾向となっている。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並となる見込み。</p>							
しそ	27年	1,954	287	249	306	309	茨城 44%
	28年	1,883	219	241	228	195	兵庫 37%
	29年	1,795	204	232	193	194	愛知 6%
	30年	1,782	160	153	174	154	長野 5%
	31年	1,703	214	233	227	184	熊本 3%
	5ヵ年平均	1,824	218	222	227	209	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,700	200	200	200	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城、兵庫が中心となり、下旬から長野の入荷も始まる。各産地ともに暖冬の影響から前進出荷となる見込み。順調な入荷となるが、茨城と兵庫では平年より切り上がり時期が早まる見通し。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
きゅうり	27年	1,377	359	289	548	319	愛知 52%
	28年	1,560	263	265	285	256	高知 15%
	29年	1,430	276	261	286	282	宮崎 14%
	30年	1,797	208	209	207	209	群馬 9%
	31年	2,016	220	243	220	202	鹿児島 5%
	5ヵ年平均	1,636	259	251	296	248	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,900	250	300	250	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知を中心に宮崎、高知、群馬などから入荷する。愛知は病害虫も少なく生育良好で、日照があれば潤沢な入荷となる。他の産地も気温上昇に伴い安定した入荷を見込み、中下旬に向けてピークを迎える。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

3月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	27年	3,689	329	260	384	344	千葉 40%
	28年	4,176	427	378	423	473	埼玉 19%
	29年	4,146	363	361	370	356	茨城 15%
	30年	3,830	330	283	332	388	栃木 6%
	31年	4,178	306	260	321	345	中国 5%
	5ヵ年平均	4,004	352	310	366	382	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	4,300	310	300	330		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉県、埼玉などからの入荷となる。暖冬の影響で生育は10日ほどの前進傾向。生育順調で肥大も良好なため入荷は潤沢。終盤に入り品質が落ちるも初夏ねぎの出回りが始まり、価格は持ち直すと見込まれる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
しそ	27年	7,449	281	247	297	303	茨城 61%
	28年	7,991	213	246	220	180	兵庫 16%
	29年	7,381	192	220	182	174	群馬 5%
	30年	7,327	147	145	159	136	栃木 4%
	31年	6,819	199	215	223	158	香川 4%
	5ヵ年平均	7,393	207	215	216	191	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	7,000	175	170	170	185	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に兵庫、群馬などから入荷する。主力の茨城は暖冬のため出荷ペースが前進して切り上がり早まるも、後続産地も同様に前進し影響は未知数。天候次第では下旬以降に端境ができるか。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
きゅうり	27年	6,594	365	313	506	316	群馬 25%
	28年	7,764	263	261	280	251	埼玉 24%
	29年	6,913	279	273	286	174	宮崎 14%
	30年	7,446	217	225	209	217	千葉 12%
	31年	7,339	229	256	235	197	茨城 12%
	5ヵ年平均	7,211	268	264	299	230	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	7,200	250	280	260	210	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、埼玉など関東産地を中心に宮崎からも入荷する。多くの産地が出荷ピークに入る。一部産地に遅れや病害の発生が散見されたが、概ね回復しており潤沢な入荷が見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

3月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	27年	698	399	364	411	423	熊本 51%
	28年	785	378	384	384	372	愛知 43%
	29年	667	367	362	374	369	高知 4%
	30年	793	327	345	320	314	宮崎 2%
	31年	851	335	339	333	337	
	5ヵ年平均	759	360	358	362	361	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	830	350	360	350	340	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知を中心に入荷する。熊本は生育良好。気温上昇と日照増に伴い増量し、多かった前年並の入荷を見込む。愛知も病害虫被害が少なく、順調な入荷を見込む。両産地ともに潤沢な入荷となるか。入荷量はわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>						
ト	27年	1,368	430	440	423	429	熊本 55%
	28年	1,466	390	432	416	342	愛知 20%
	29年	1,540	313	338	326	282	三重 13%
	30年	1,502	300	307	302	292	岐阜 10%
	31年	1,612	310	360	322	268	高知 1%
	5ヵ年平均	1,497	346	374	356	320	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,600	320	350	330	280	
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本を中心に愛知、三重、岐阜から入荷する。全体的に上旬は少なく、中旬以降に増量する見通し。ピークは5月の連休からとなるか。愛知は3月に比べると増量するが、やや少なめの入荷となる見込み。入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。</p>						
ニ	27年	469	706	704	703	700	熊本 57%
	28年	503	744	790	807	666	愛知 30%
	29年	529	620	668	632	574	宮崎 7%
	30年	566	593	599	596	582	和歌山 5%
	31年	623	625	676	639	568	長野 1%
	5ヵ年平均	538	654	684	671	613	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	600	630	630	630	630	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知を中心に入荷する。熊本は作付面積が増加しており、多かった前年以上の数量を見込む。愛知も4月は増量して潤沢な入荷となる予想で、両産地ともに下旬に向けてピークを迎える。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

3月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	27年	2,929	480	414	582	462	高知 55%
	28年	3,730	418	426	409	421	福岡 16%
	29年	3,336	438	434	445	436	熊本 10%
	30年	3,623	370	356	368	388	群馬 6%
	31年	3,649	400	408	413	379	佐賀 4%
	5ヵ年平均	3,453	419	407	438	415	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	3,500	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知を中心に福岡などの西南暖地、群馬から入荷する。高知では2月以降の天候が安定しており、入荷量は5月の最盛期の走りに向け増加傾向。各産地では気温上昇に伴う病害虫の懸念がある。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
ト マ ト	27年	6,884	454	463	447	450	熊本 32%
	28年	7,845	403	446	421	364	栃木 25%
	29年	8,169	336	373	344	295	愛知 11%
	30年	7,464	333	338	331	329	千葉 5%
	31年	7,288	360	404	376	308	群馬 5%
	5ヵ年平均	7,530	376	404	382	347	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	7,500	360	400	360	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、栃木、愛知、千葉からの入荷が中心となる。熊本は最盛期に入り、愛知や千葉も植え替えの作型で増加が見込まれる。入荷潤沢も気温が近年のように高く推移すれば果実への障害に留意必要か。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	27年	1,791	691	683	696	696	熊本 47%
	28年	2,101	676	716	741	612	愛知 20%
	29年	2,075	565	616	576	511	宮崎 9%
	30年	2,122	544	546	541	545	千葉 7%
	31年	2,279	591	660	597	522	静岡 6%
	5ヵ年平均	2,074	611	643	628	573	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	2,100	610	630	610	590	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、宮崎からの入荷が中心となる。大玉トマト同様に入荷ピークに向けて数量は増加傾向となると見込まれる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

3月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	27年	598	524	544	537	598	鹿児島 48%
	28年	679	407	424	412	431	宮崎 28%
	29年	667	382	367	382	413	高知 13%
	30年	695	312	351	302	333	茨城 11%
	31年	693	426	511	431	364	
	5ヵ年平均	666	407	437	409	423	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	700	411	450	430	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島、宮崎、高知の西南暖地と茨城が中心となる。3月に入って入荷量が増え、これまでの高値傾向から価格は下落した。4月も気温の上昇とともに増量する見込みで、多かった前年並の数量となるか。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	27年	2,693	246	207	260	274	鹿児島 79%
	28年	2,642	268	274	287	256	北海道 14%
	29年	3,357	223	233	225	217	長崎 6%
	30年	2,724	132	122	126	152	
	31年	3,149	143	133	147	146	
	5ヵ年平均	2,913	201	193	207	207	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	2,800	140	140	140	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島を中心に入荷する。鹿児島は順調で、概ね平年並の入荷となるか。北海道の残量はほぼ終了。長崎は平年よりやや早めの開始となり、4月は同じく前進した前年並の入荷量を見込む。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
たまねぎ	27年	5,239	101	98	107	92	北海道 67%
	28年	6,353	75	82	81	73	愛知 28%
	29年	6,164	102	118	113	87	宮崎 1%
	30年	6,085	91	103	96	82	静岡 1%
	31年	6,387	106	116	102	104	兵庫 1%
	5ヵ年平均	6,046	95	104	99	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	6,300	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、愛知中心の入荷となる。北海道の計画出荷分は平年並の数量だが、残量はまだ十分にある。愛知は生育良好で玉伸びも良く、2L、L階級を中心に潤沢な入荷となる見込み。入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

3月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	27年	1,985	593	565	577	635	茨城 49%
	28年	2,330	455	470	445	454	宮崎 27%
	29年	2,235	427	416	421	446	高知 15%
	30年	2,368	387	414	373	374	鹿児島 9%
	31年	2,426	485	562	480	425	
	5ヵ年平均	2,269	466	484	456	461	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	2,400	450	550	450	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に、西南暖地から入荷する。茨城は着果にバラツキがあるものの、生育は平年並。高知は2月より天候が安定して生育順調で、減り込んでいた出荷量も回復している。概ね潤沢な入荷が見込まれる。入荷量は潤沢だった前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	27年	8,037	201	177	206	218	鹿児島 64%
	28年	7,876	238	243	246	227	北海道 26%
	29年	8,751	223	229	229	209	長崎 9%
	30年	8,333	115	110	112	125	
	31年	8,884	132	126	133	140	
	5ヵ年平均	8,376	181	176	184	183	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	8,100	130	140	130	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島からの入荷が本格化し、北海道の貯蔵ものは終盤となる。北海道の残量は少なかった前年並となるが、後続の鹿児島は生育順調で天候にもよるが不足感なく入荷が進むと見込まれる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
たまねぎ	27年	14,348	113	104	113	120	佐賀 46%
	28年	14,423	87	85	90	86	北海道 45%
	29年	12,151	131	136	134	124	中国 3%
	30年	11,905	102	110	99	99	熊本 2%
	31年	13,189	122	124	126	114	静岡 1%
	5ヵ年平均	13,203	110	111	112	108	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	13,500	75	85	80	60	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道の貯蔵ものが終盤になり、佐賀の新たまねぎの入荷が本格化する。北海道は貯蔵量の少なかった前年を上回り平年並の入荷量を見込む。佐賀は暖冬から前進化と肥大が進んでいる。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

3月12日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	27年	7,427	395	382	381	421	青森 21%
	28年	6,792	435	454	425	426	熊本 19%
	29年	6,507	414	413	403	412	フィリピン 16%
	30年	6,083	440	443	431	430	愛知 10%
	31年	6,997	436	419	432	432	三重 8%
	5ヵ年平均	6,761	423	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	5,900	460	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	いちご、かんきつ類、りんごなどが主な品目となる。3月に続きコロナウィルスによる業務需要減が予想されるが、元々収量の少ないりんご、前進出荷のかんきつなど入荷減を見込む品目が多く、価格は上がるか。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。						
いちご	27年	833	965	891	1,000	1,053	愛知 57%
	28年	956	910	900	865	964	熊本 26%
	29年	824	1,054	1,115	1,039	1,011	鹿児島 5%
	30年	761	1,102	1,148	1,079	1,090	佐賀 3%
	31年	924	1,045	1,065	1,054	1,053	宮崎 3%
	5ヵ年平均	860	1,011	1,019	1,003	1,032	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	830	1,050	1,050	1,050	1,050	
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知を中心に熊本などからも入荷する。3月前半は入荷増に加え、コロナウィルスによる業務需要の減少もあり、価格が下落した。4月は4番果の花数が少なく、花も弱いため、入荷量は少ないとみられる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。						
その他メロン(アールスメロンを除く)	27年	319	350	233	428	428	熊本 61%
	28年	262	396	327	326	432	メキシコ 21%
	29年	327	321	193	339	441	鹿児島 9%
	30年	207	459	377	463	496	その他中南米 4%
	31年	236	493	526	482	493	宮崎 3%
	5ヵ年平均	270	394	315	401	454	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	190	490	550	500	480	
その他メロン(アールスメロンを除く)	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本、メキシコを中心に入荷する。メキシコは一時期より大幅に減少しているが、本年は前年をさらに下回る入荷の見通し。熊本は早期出荷が見込まれ、同様の動きで入荷増となった前年に近い数量となるか。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年並となる見込み。						

東京都中央卸売市場

3月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	27年	27,804	427	434	415	433	青森 21%
	28年	26,543	477	472	474	487	熊本 16%
	29年	27,127	454	490	448	422	愛媛 11%
	30年	23,963	490	518	480	469	栃木 8%
	31年	26,863	480	490	474	477	フィリピン 8%
	5ヵ年平均	26,460	465	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	27,000	470	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	いちご、りんご、かんきつ類を中心に、すいかやメロン、ハウスみかんなどの施設果樹が入荷する。今後出てくる品目は暖冬の影響もあり順調な予想だが、新型コロナウイルスの影響で荷動きは悪いか。入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに下回る見込み。						
いちご	27年	4,092	956	929	946	1,008	栃木 44%
	28年	4,930	949	923	979	948	福岡 19%
	29年	4,654	1,082	1,192	1,049	962	茨城 9%
	30年	4,291	1,095	1,152	1,050	1,046	静岡 7%
	31年	4,912	1,096	1,103	1,101	1,079	佐賀 7%
	5ヵ年平均	4,576	1,036	1,060	1,027	1,008	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	4,800	1,090	1,110	1,090	1,070	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	栃木を中心に福岡、佐賀などの各地から入荷する。4月上旬は前月末からの入荷の波が続く見込みだが、中下旬は気温が上がるため小玉で着色が進むほか、果実の傷みも懸念され、入荷量は減少傾向になるか。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並となる見込み。						
その他メロン（アールスメロンを除く）	27年	623	622	606	605	636	茨城 39%
	28年	766	583	605	542	635	熊本 33%
	29年	797	535	518	539	530	メキシコ 18%
	30年	608	542	632	561	512	ホンジュラス 4%
	31年	735	537	629	568	498	その他外国 2%
	5ヵ年平均	706	562	595	561	562	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	740	520	540	510	510	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本からアンデス、クインシー、茨城からオトメメロンが入荷する。各産地ともに天候に恵まれ、生育は若干前進している。肥大状況も平年並で、4月下旬から入荷のピークを迎えるか。入荷量は前年並となり、価格は前年をやや下回る見込み。						

切花・鉢花の4月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 3月27日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	27年	1,510	51	
		28年	1,677	55	
		29年	1,628	34	
		30年	1,781	35	
		31年	1,672	38	
	5ヶ年平均		1,654	42	
	2年見通し		1,600	35	
概要	愛知、沖縄中心の入荷となる。年末の返しが4月10日頃から始まる予定。一般小売、業務ともに停滞しており、動きは重い。				
小 ぎ	実績	27年	1,160	31	
		28年	1,227	34	
		29年	1,104	19	
		30年	1,153	26	
		31年	980	33	
	5ヶ年平均		1,125	29	
	2年見通し		1,000	30	
概要	沖縄を中心に入荷する。年末の返しも4月頭には始まる見通し。生育もよく、上位等級中心の出荷を見込む。相場の展開次第では下位等級は出荷調整もしていくと思われる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	27年	1,205	49	
		28年	1,237	50	
		29年	1,172	34	
		30年	1,547	27	
		31年	1,246	43	
	5ヶ年平均		1,281	40	
	2年見通し		1,200	40	
概要	愛知、長野、和歌山中心に、輸入品はコロンビア、中国産が入荷する。ほぼ前年に似ているが、やや前進気味でガラガラとした出荷が予想される。新型コロナウイルスの影響が物流に表れており、輸入は入荷不安定。				
か す み	実績	27年	235	74	
		28年	230	75	
		29年	196	60	
		30年	238	52	
		31年	182	78	
	5ヶ年平均		216	68	
	2年見通し		200	65	
概要	高知、和歌山、熊本から入荷する。数量は減少することなく入荷する。上旬はイベント需要が多少あるが、中下旬は大きな需要がないため、相場は落ち着く見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	27年	324	172	
		28年	289	191	
		29年	262	163	
		30年	301	153	
		31年	263	184	
	5ヶ年平均		288	172	
	2年見通し		270	170	
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、埼玉から入荷する。年末の返し分が4月中旬に出荷されるため、数量が多く、販売は苦しくなる見通し。鉄砲は生産が減っているため、相場の大きな崩れはない見込み。</p>				
洋	実績	27年	411	85	
		28年	420	82	
		29年	377	72	
		30年	356	78	
		31年	410	73	
	5ヶ年平均		395	78	
	2年見通し		380	70	
概要	<p>愛知、徳島、静岡、鹿児島などの国産に加え、輸入品が入荷する。シンビジウムは国内産が終了し、輸入品に切り替わっていく。新型コロナウイルスの影響により輸入全般で入荷見通しが立てづらい。</p>				
ば	実績	27年	752	87	
		28年	864	66	
		29年	750	63	
		30年	849	48	
		31年	727	65	
	5ヶ年平均		788	65	
	2年見通し		750	60	
概要	<p>愛知、岐阜、三重を中心に入荷する。長野産の出荷も始まり、国内産の入荷量が増えてくるが、輸入がなくなる分、全体量は落ち着く見込み。新型コロナウイルスの影響でブライダルがなくなっているため、販売は厳しい展開が予想される。</p>				
枝	実績	27年	1,558	48	
		28年	1,540	49	
		29年	1,405	47	
		30年	1,512	48	
		31年	1,348	56	
	5ヶ年平均		1,473	49	
	2年見通し		1,350	50	
概要	<p>長野、静岡、岐阜を中心に入荷する。全般に半月ほどの前進が見受けられ、初夏でドウダンの販売を中心に菖蒲、スノーボール、芍薬、アリウムなどの入荷が増えてくる。新型コロナウイルスによる自粛で、入学・入社等の行事も縮小傾向のため、イベント需要は減少し、弱含みの展開の見通し。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カララ	実績	27年	37,944	455	
		28年	34,437	488	
		29年	11,959	536	
		30年	33,365	438	
		31年	30,014	459	
	ラ	5ヶ年平均	29,544	466	
		2年見通し	30,000	457	
概要	<p>早出し出荷から母の日にかけて作付減となるが、入荷量は前年並か。母の日の需要が高まる4月最終週より入荷量が急増する。とはいえ注文中心の入荷となるため、競売品は品薄になる見込み。価格面では、入荷量の減少に伴い安定すると予想される。大輪のピンク、黄色の引き合いが変わらず強い。</p> <p>前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉(56.4%)、2位長野(27.4%)、3位新潟(5.1%)となっている。</p>				
ファレノ	実績	27年	50,298	3,058	
		28年	43,016	2,897	
		29年	27,799	3,365	
		30年	48,427	2,564	
		31年	43,014	3,031	
	プ	5ヶ年平均	42,511	2,947	
		2年見通し	42,000	2,976	
概要	<p>入荷量は前年よりわずかに減少するか。大輪の相場は前年安定したが、ミディータイプは厳しかったため作付けが減っている状況。今年は選挙需要がなく、前年より相場は鈍い予想だが、上旬はミディーが動くので狙って出荷していただきたい。</p> <p>前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(48.1%)、2位静岡(10.4%)、3位熊本(8.9%)となっている。</p>				
バラ及びミニバラ	実績	27年	79,440	304	
		28年	89,611	249	
		29年	61,740	182	
		30年	75,413	190	
		31年	64,699	217	
	ミ	5ヶ年平均	74,181	232	
		2年見通し	65,000	215	
概要	<p>入荷量は前年並か。今後の天候によるが、ゴールデンウィークに向けて多少前倒し出荷も予想される。3~4号の入荷が中心になるが、中旬以降は5号以上も増える見込み。価格は安値から中値と思われる。</p> <p>前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(50.9%)、2位岐阜(36.8%)、3位愛媛(6.0%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイ ド ラ リ ア	実 績	27年	204,879	744	
		28年	217,051	764	
		29年	121,784	696	
		30年	191,128	771	
		31年	161,334	823	
	5ヶ年平均		179,235	762	
	2年見通し		161,000	824	
概要	<p>入荷量は前年並か。天候不順がなければ、順調な入荷が見込める予想。近年4号サイズが増産傾向にあり、4号以下は前年以上に増える見込み。 前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(57.6%)、2位群馬(13.8%)、3位埼玉(6.4%)となっている。</p>				
ス パ テ ィ フ ィ ラ	実 績	27年	28,370	291	
		28年	24,439	357	
		29年	17,402	432	
		30年	24,602	356	
		31年	19,972	370	
	5ヶ年平均		22,957	354	
	2年見通し		19,000	350	
概要	<p>入荷量は前年よりやや減少するか。前年同様に3号と4号メインとなり、大きいサイズが減少しているため、平均単価も下がる見込み。コロナウィルスの影響が収束していれば前々年並の単価で推移する予想。 前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重(53.4%)、2位静岡(21.7%)、3位愛知(15.9%)となっている。</p>				
カ ー ネ ー シ ョ ン	実 績	27年	166,101	370	
		28年	202,439	392	
		29年	40,834	276	
		30年	117,723	344	
		31年	89,249	352	
	5ヶ年平均		123,269	363	
	2年見通し		88,000	357	
概要	<p>入荷量は前年並か。暖冬の影響で前年より出荷時期は早まる見込み。生育順調のため、出荷総数は全く変わらないと思われる。 前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(33.0%)、2位群馬(14.0%)、3位埼玉(10.3%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.562
令和2年4月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434